

入居者主体の生活を目指して ～ありのままを受け止めた食事作りから～



医療法人 凌雲会グループホーム 親の家 仁木 亜由美

【はじめに】

- ・親の家では決まったプログラムがなく、入居者の声を取り上げた生活



しかし

スタッフ主体の生活

【具体的な取り組み】

親の家の基本方針とは…

入居者は介護を受ける人ではなく
生活の主役である。

入居者の心の動きに共感し
ありのままを受け止める。

大切なこと

入居者が無理を
せずに楽しむ

入居者が自分の
気持ちを表せる



入居者と一緒の立場になって考え行動する。

①献立

何気ない会話の中からも、入居者の思いをキャッチする

広告を見ながら

今日はこれが安いわー



好きな食材を使った料理

エビ、大きくて美味しそうじゃ。



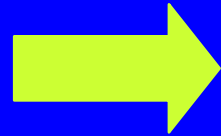
②買い物

入居者が楽しみながら出かけられる工夫



③調理

キッチン



リビングの机で調理を実施

これ、お米
なんぼ
かいな？

今日は、
男の料理
じゃー

上手に
盛り付け
出来るか
いな？



④食事

入居者とスタッフが一緒に食事をしている



皆で
食べたら
おいしいなあ ♡



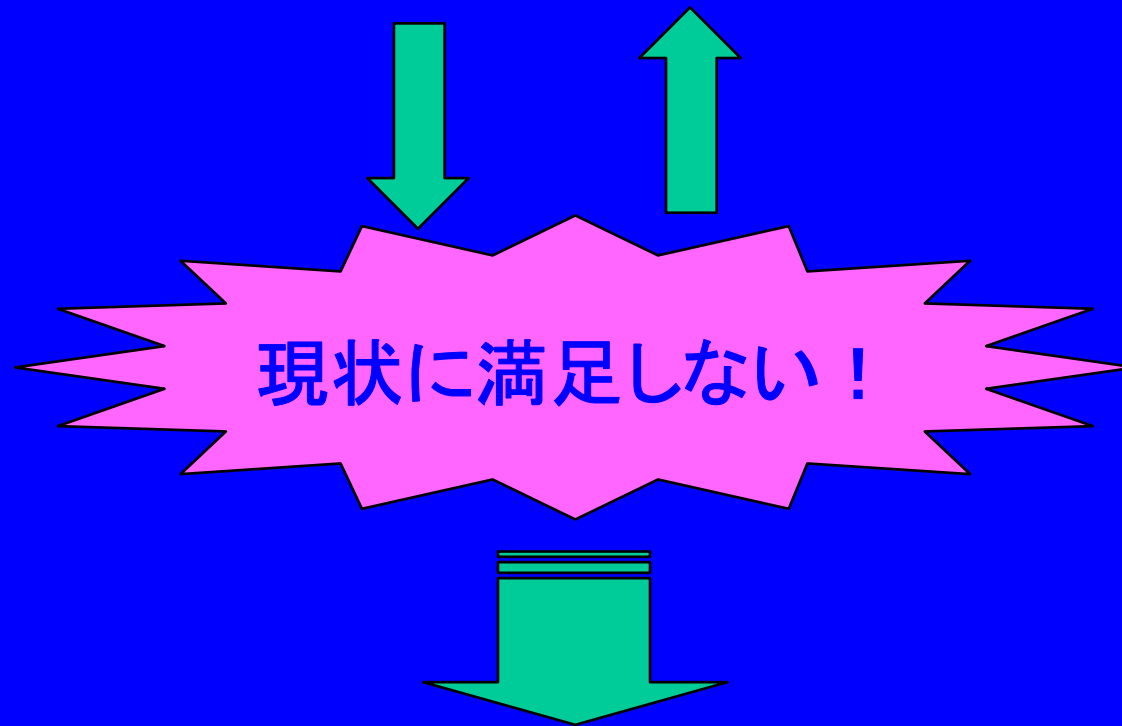
⑤片付け

入居者が個々に応じた方法で参加できるような環境作り



【活動の成果と評価】

基本方針を常に念頭に置いた支援を行なう



ワガママで生き生きした生活

【今後の課題・考察・まとめ】



ご静聴ありがとうございました。